



※一般質問の内容は議員自身が6月定例会議事録に基づき記述しています。QRコードを読み取り、令和2年6月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。



まつなが たかお
松永 孝男 議員
(富岳会)

新型コロナウイルス感染症に対する対策について

問 家賃補助など今後の助成制度を伺う。

部長 国はテナント事業者に家賃支援給付金を予定しているが、現時点で期間や条件等詳細は示されてない。公表され次第早急に周知する。

問 給付金は所得税の課税対象になるのか。

部長 中小規模事業者等に支給される持続化給付金、休業補償、雇用調整助成金は、収入補償や賃金など支出の補填であり課税対象となる。個人や世帯に対する定額給付金や子育て世帯への臨時給付金等は家計支援であり非課税。

問 密を避ける生活スタイルは都会からの移住促進の追い風と考えるが、新たな取組は。

部長 移住につながる関係人口の増加を目指した取組を進める。キャンプ場などで仕事と休暇を両立するワーケーション*が注目されている。富士

山を望む豊かな自然の中でテレワークができる環境整備を進めていく。

問 感染防止の観点から、キャッシュレス決済促進助成金の新設と「富士宮キャッシュレスタウン構想」を提案するがいかがか。

部長 国が非接触型のキャッシュレス決済端末の導入に対する補助金を設定している。従って市独自の助成金は考えていない。

市長 これからはキャッシュレスの時代だと認識している。ウィズコロナ、アフターコロナの動きの中で国の動向などを注視し、時代に対応できるように研究していく。

*ワーケーションとは、観光地などで休暇をとりながらテレワークする働き方のこと。



の もと たかゆき
野本 貴之 議員
(芙蓉)

夏季期間のマスク着脱指導と熱中症対策を！

問 猛暑など夏季期間中の小・中学生のマスク着脱の対応について伺う。

教育長 国の指針では、熱中症等の健康被害が発生する可能性があるとは判断した場合は、マスクを着用する必要はないとある。熱中症への対応を優先させることや暑さで息苦しいと感じたときに、子ども自身が適切に対応できるように学校教育課から丁寧に指導していく。

不登校の児童生徒にオンライン授業の活用を！

問 オンライン授業の導入と対応を伺う。

教育長 オンラインを活用した授業が始められるように研修している。臨時休業が続く場合には実施していくことも考えている。

問 不登校や長期療養の児童生徒へのオンラインの授業の活用は。出席として認められないのか。

教育長 教師との対面指導や児童生徒同士の交流活動が十分にできないという問題もある。国の通知で出席とする要件は、対面指導が適切に行われること、校長が保護者などを含めた連絡会を実施して状況を十分に把握することとあり、家庭のみの視聴は出席と認められない。今考えているのは、例えば保健室とか学校内の別室でオンラインの授業に参加するなら出席扱いにできるので、対応ができるようならしていきたいと考えている。

市独自の犯罪被害者等支援条例の制定を！

問 犯罪被害者等支援条例の制定を目指す考えはあるのか。制定に向けて関係機関や団体と連携をどのように取り組んでいくのか。

部長 市は犯罪被害者の方への支援の必要性を認識している。令和2年度は庁内、警察、関係機関、近隣市町との調整を図り、令和3年度に条例を制定できるように取り組んでいく。

その他の質問

コロナ禍における災害時の対応と支援の在り方について(指定避難所、福祉避難所運営指針の見直し等)